

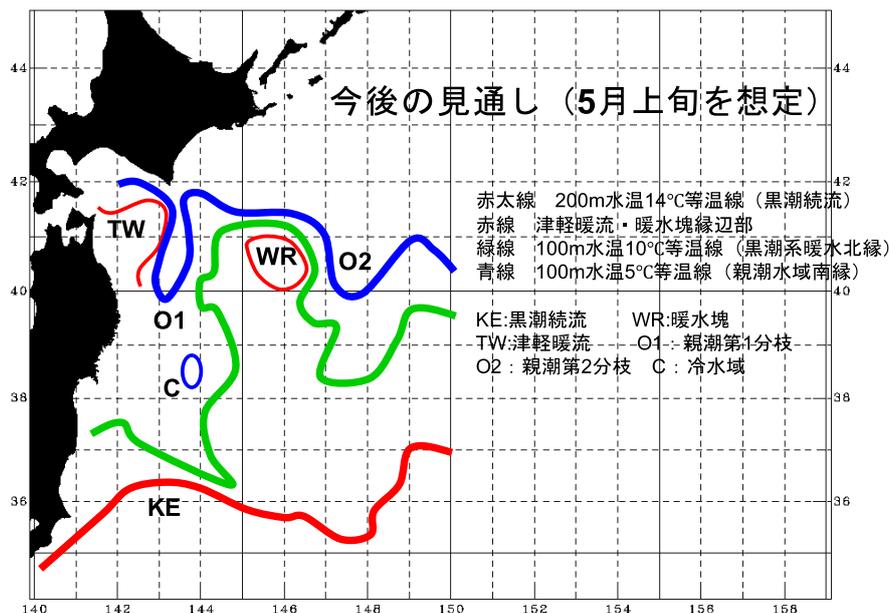


2020年度 第1回 東北海区海況予報

— 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構
東北区水産研究所、北海道区水産研究所がとりまとめた結果 —

今後の見通し(2020年4月下旬~2020年5月)のポイント

- ・ 近海の黒潮続流の北限位置は平年並みで推移する。
- ・ 親潮第1分枝の張り出しはやや北偏~かなり北偏で推移する。
- ・ 黒崎沖の暖水塊は停滞し、三陸沖の冷水域は金華山沖に移動する。



問い合わせ先

国立研究開発法人水産研究・教育機構 東北区水産研究所
担当：業務推進部 杉崎、樽井
資源環境部 栗田、田中、奥西
電話：022-365-1191、ファックス：022-367-1250
当資料のホームページ掲載先URL
<http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease>

2020年度東北海区海況予報 第1号

《今後の見通し（2020年4月下旬～5月）》

近海の黒潮続流の北限位置は平年並みで推移し、親潮第1分枝の張り出しはやや北偏～かなり北偏で推移する。黒崎沖の暖水塊は停滞する。三陸はるか沖の暖水塊は消滅する。三陸沖の冷水域は金華山沖に移動する。

《海況の経過（2020年2月～3月下旬）の特徴》

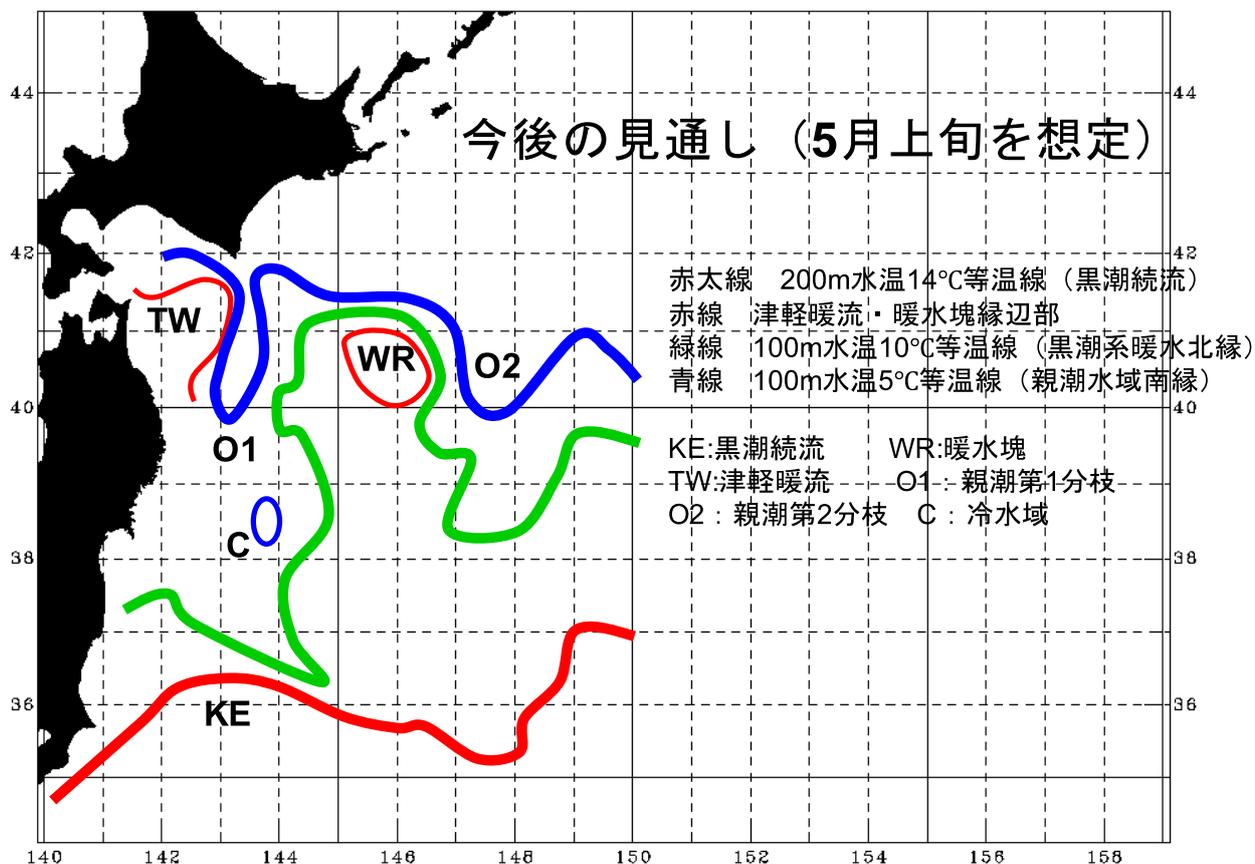
近海の黒潮続流の北限位置は、かなり北偏で推移した。親潮第1分枝の張り出しは、2月上旬～2月下旬に平年並み～やや北偏、3月上旬～3月下旬にかなり北偏～極めて北偏で推移した。黒崎沖に暖水塊が停滞した。2月中旬に三陸はるか沖に暖水塊が形成された。2月下旬に三陸沖に冷水域が形成された。

《現況（2020年4月上旬）の特徴》

近海の黒潮続流の北限位置はかなり北偏、親潮第1分枝の張り出しは極めて北偏である。暖水塊が黒崎沖、三陸はるか沖にある。冷水域が三陸沖にある。

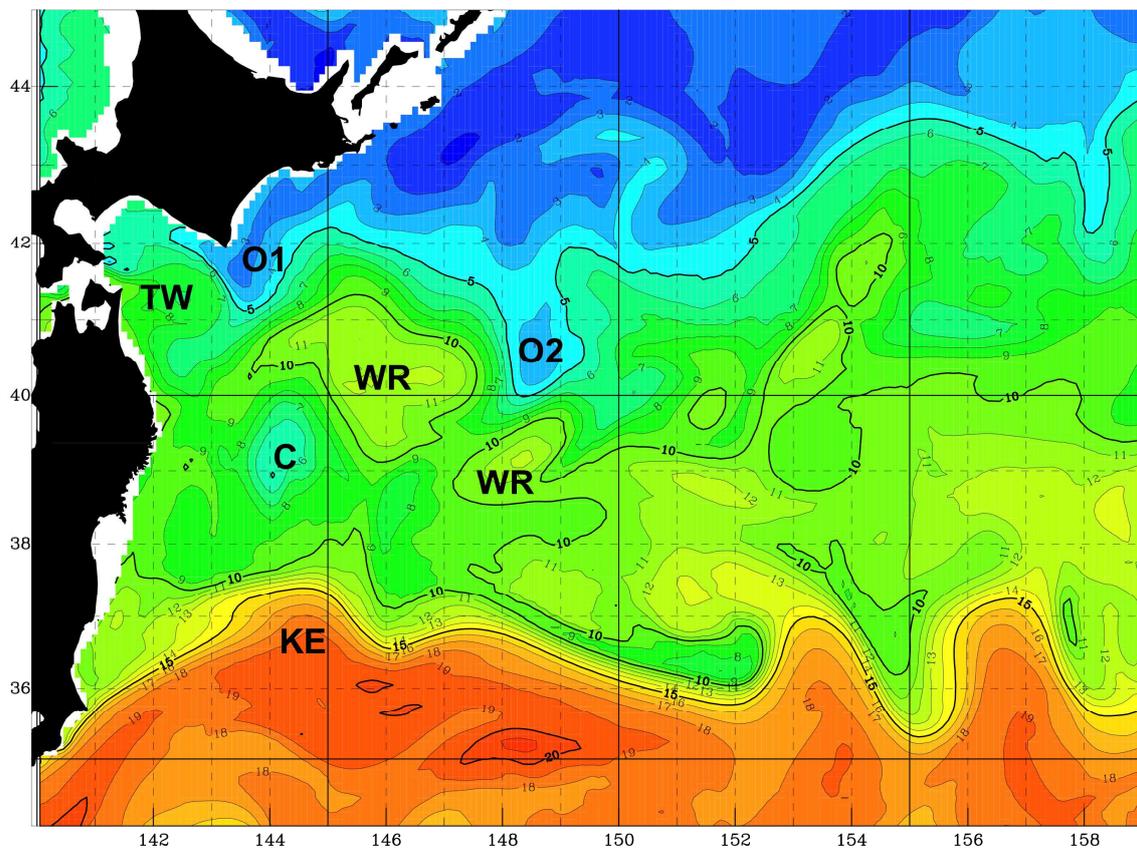
（注）この海況予報は、国立研究開発法人水産研究・教育機構により開発され、2012年5月より運用を開始したFRA-ROMSシステムを用いた。FRA-ROMSは、我が国周辺太平洋域の海況経過を再解析し、2ヶ月先までの海況を予測する海況予測システムである。

5月上旬予測水温分布図



4月上旬現況水温分布図（100m深）

TEMPERATURE AT 100m DATE: 2020/0401 - 2020/0410



図中の記号はそれぞれO1が親潮第1分枝、O2が親潮第2分枝、KEが黒潮続流、TWが津軽暖流、WRが暖水塊、Cが冷水域を表している。

参 画 機 関

地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 北海道区水産研究所
岩手県水産技術センター	(取りまとめ機関)
宮城県水産技術総合センター	国立研究開発法人水産研究・教育機構 東北区水産研究所
福島県水産海洋研究センター	
茨城県水産試験場	